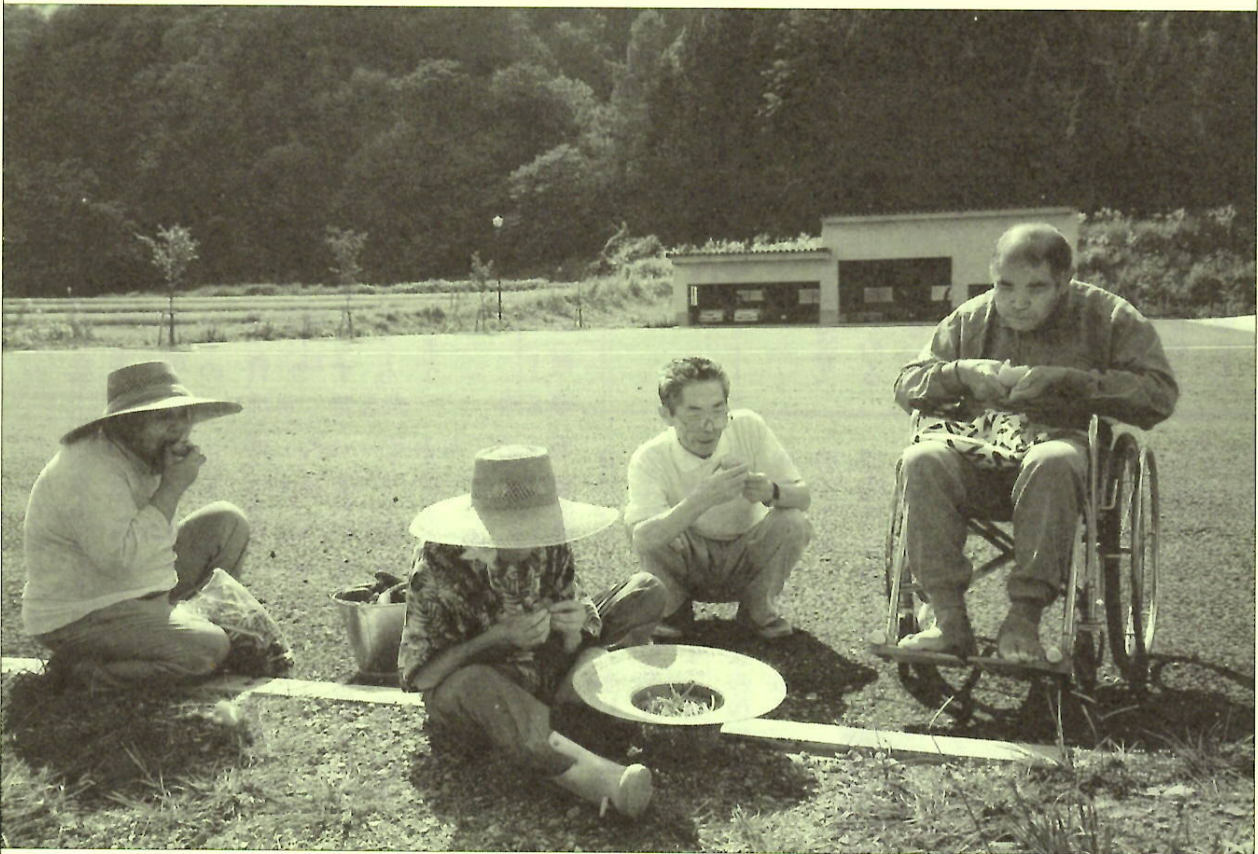


やすらぎ

特養住民
佐々木アキノ 筆

第9号

発行 平成12年 9月25日
社会福祉法人やすらぎ会
編集 広報委員会



やっぱりとれたてが一番！

〈収穫したトマトをほおぼるデイサービス利用者と特養住民〉

- ◆特別養護老人ホームぶなの園 ◆沢内村デイサービスセンター
- ◆沢内村在宅介護支援センター ◆ホームヘルプサービス事業
- ◆西和賀介護相談室

沢内村大字太田第2地割135番地 ☎0197-85-2322

◆沢内村高齢者生活福祉センターかたくりの園

沢内村大字大野第17地割140番地1 ☎0197-85-3388

足浴ってどんな効果があるの？

「あつついな〜」。今年の夏は、この言葉の出ない日が一日としないほど、連日の猛暑でした。

例年ならば、さわやかな風のそよぐ過ぎやすいはずの沢内も、今年はじつと汗の流れる日々が続き、寝たきりの方などは暑さを訴えるすべもなく、汗をぬぐうこともできずに、湿疹が出てしまうこともありました。

ホームバーで一杯いかがですか

月一回のホーム喫茶に加え、このたび新たに「ホームバー」が開店し、これまで六月と七月の二回実施しました。

ホームバーは「居酒屋でちよつと一杯」という雰囲気、地域交流スペースのカウンターを利用し、アルコール類やおつまみを楽しんでいただくというものです。

「昔は、夜明けまで飲んだ

もんだ。」「こういう施設で、店つこみたいにして酒飲めるとは思わねがった。」など、顔を赤らめながら話してくださいる特養住民の方もおりました。

七月は地域住民の方にもご案内をし、特養住民と合わせて三〇名ほどのご利用がありました。芸達者な方たちが、カラオケ、踊りなどで盛り上げてくださり、お酒を飲めな

そんな方には、寮父母が柔らかな温かいタオルで一日に何度も汗をとり、着替えを繰り返していただきました。同時に、ほとんどが寝たきりの方には扇風機と除湿器をフル活用して、暑さへの対応と湿疹予防をしてきました。

また、普段から素足にしている方も水虫の発生が見られる方が多く、その対策と予防として、清潔保持の他に足浴を実施しました。

足浴は、週二回天気の良い日に、なまぬるい水に消毒液を入れて数分間足を浸し、その後よく乾燥させて薬をつけます。午後の昼寝の後に前庭の日陰で行なっており、子供用プールにみんな

足浴の間に寮母が爪を切ったり、マッサージ、耳かきなどをしている、心地良さに居眠りをする方もおられるほどです。また、足浴をしながら畑からとれたてのきゅうりをかじったり、スイカを食べたりと、おやつの時間に早がりという時もあります。

この足浴を実施することによって足に集中した観察をすることができ、普段見つけにくい足の異常も早期に発見、治療することができました。

心身ともに様々な効果のあるこの足浴は、来年の夏もぜひ、実施したいと思えます。

〈寮母 高橋香子〉



暑さを忘れるひとときです



この一杯がたまらないんだナ〜

い方も、お茶やジュースを飲みながら手拍子。とてもにぎやかなひとときでした。

ホーム喫茶もバーも、ぶなの園住民と地域住民の皆さんとの交流のための運営です。今後定期的に、また回数も多くなるよう、検討中です。

開店日の前には有線放送等でお知らせしますので、ぜひおいでいただきたいと思えます。

〈寮母 高橋栄子〉

今回からこの「やすらぎ」の紙面にて、新しくぶなの園住民の仲間入りをされた方をご紹介させていただきますことにいたしました。

今回は今年四月から八月までに入居された三名の方をご

新しい仲間ご紹介

紹介します。

なお、退所された方につきましては様々な事情がおりになる場合も考えられ、今後報告は控えさせていただきます。ご了承ください。



〔七月入居〕
新町 照井ツルさん (86歳)



〔七月入居〕
猿橋 和泉ミヨさん (91歳)



〔八月入居〕
川舟 佐々木慶蔵さん (90歳)

ぶなの園住民に聞きました テン 好きな食べ物ベスト10

ぶなの園では年間3回、住民の皆さんの食べ物の好みを調べる「嗜好調査」を実施しています。

咀嚼、飲み込みの力の低下により、高齢者の方の嗜好は常に変化しており、住民一人ひとりの好みを確認させていただくうえで貴重な調査と言えます。

8月の調査でまとまった特養住民の皆さんの好きな食べ物ベスト10は、次のとおりとなっています。

第1位	漬物	13票
第2位	おひたし	11票
第3位	焼き魚	10票
第4位	すし	9票
第5位	めん類	8票
第6位	あんぱん	7票
第7位	刺身、焼き肉	各6票
第8位	餅、カレーライス	各4票
第9位	酢の物	3票
第10位	さばのみそ煮	2票

調査中、「しょっぱ漬物くいで。」「昔だば塩マスしかねがったもの」などという声を聞きました。昔ながらの塩蔵法で保存されていた食べ物の味が忘れられない方も多いようです。

〈栄養士 丹波直人〉

よろしく願いました

(年齢は八月末日現在)

集中力が 違います

ぶなの園

デイサービスセンターぶなの園では、痴呆の症状を持つ方々を対象に残された能力の維持と、痴呆の進行を遅らせることを目的とした援助を行っています。

そのために私たち職員が最も心がけていることは、利用者一人ひとりの関心や能力に合わせた活動を取り入れていくことです。

男性の利用者のT・Sさんはパズルが得意で、女性の利用者が入浴している一時間半余りの間、黙々とパズルを行なっています。普段は笑顔で他の利用者や職員にちょっとした声をかけてくるSさんですが、パズルに向かう時の表情は真剣そのもの。パズルを組み合わせるスピードも、徐々に早くなってきています。

その他、計算を得意とする利用者、唄や折り紙を好む利

一人ひとりに合わせた援助 デイサービスセンターの活動

利用者など様々で、職員が計算やことわざの問題をつくって解いてもらったりもしています。

残存能力を活用することはその人の尊厳を守ることに繋がります。自分でできることを何らかのきっかけで見いだし、生活している実感を味わい続けられるよう、援助していかねばならないと考えています。

チーフ 石川 進



パズルに集中する利用者

リハビリで 意欲の向上を

かたくりの園

利用者の身体的、精神的な機能の低下を防ぐため、かたくりの園では遊びを通してのリハビリと職員による機能回復訓練を実施しています。

遊びを通してのリハビリとしては、輪投げや缶ホーリング、足を使った物送りゲームなどを行なっています。障害のある人でも参加できるように考慮し、利用者のほぼ全員に参加していただいております。

また、機能回復訓練は、利用者一人ひとりの状態に合わせて、主に入浴後に実施しています。

車椅子を使用しているS・Kさんは、座ったまま足を伸ばすことができずでした。



足を使ってボール運び

しかし、通所日に職員が関節の曲げ伸ばしとマッサージを繰り返すうち、本人も伸ばそうという意欲が出てきて、今では足を台の上ののせて、ある程度伸ばすことができるようになっていました。

また、利用者の中には腰の痛みを訴える方が多く、そのような方には腰部のマッサージとストレッチを重点に行なっています。

これらのリハビリが、身体の機能回復だけでなく、精神的な意欲の向上につながることを願い、利用者と共に続けていきます。

へかたくりの園
運転手兼介助員 高橋正広

まごころ添えて お届けします たんぼぼ弁当

やすらぎ会が沢内村より委託を受けて実施している食事サービス(たんぼぼ弁当)をご利用いただいている方は、八月末日現在で二八名。週二回の昼食にお届けしております。

誕生日には職員のお祝いの言葉を添え、また保冷、保温など少しでもおいしく食べていただけるよう、担当職員一同心がけています。

「用事で出かけて帰ってくるど、疲れて昼めしも食わね横になることもあった。今はたんぼぼ弁当のお陰で、食ってがら休んでら。」(T・Kさん)

「冬でもこの弁当だど、あんまり冷めねどとってもおいし

ご存知ですか? 生活支援ハウス事業

今年度から始まった介護保険以外のサービスとして「生活支援ハウス事業」があります。

これは、昨年度までかたくりの園で冬期間生活できた居住部門のことで、介護保険と

い。(Y・Oさん)

利用者の皆さんのこのよう

な声が、何よりの励みです。現在のところは月、木曜日の週二回のみですが、今後は希望者がいらっしゃる時は、週三回に増やします。

栄養のバランスを考え、心をこめて調理、配達させていただいているたんぼぼ弁当。負担額等、お聞きになりました点がございましたら、かたくりの園までご連絡ください。

へかたくりの園
寮父兼運転手 照井俊典



夕食のしたくをする生活支援ハウス居住者

なり名称と内容が多少変わりました。具体的には冬期間に限られていた居住施設の利用が、一年を通して利用できることになりました。

対象者は平成一一年度の居住施設利用者、一人暮らし、または高齢者のみの世帯の方、養護老人ホームの入所を待っておられる方などで、日常生活がほぼ自立していることが原則とされています。

利用定員は一〇名、九月一日現在で三名の方が利用されています。その方々に、利用されてみての感想をお聞きました。

「家さ一人であるのは、とっても不安でならね。火どが水どが、心配になりすぎでしまう。んだども、かたくりさい

れば、ナベこがしても声かけでける人いるし、いつもいんど安心でできる。」

このような声を励みに、今後とも利用者の期待にそえるよう、職員一同努力していきます。

へかたくりの園
生活相談員 高橋宏明

盛り上がりました 全村のご協力で 第2回やすらぎ会夏祭り

真夏の夜空に沢内さん達の太鼓が鳴り響き、途中、高橋一雄村長のあいさつをいただき、第二回やすらぎ会夏祭り(七月二十九日)は大盛況のものと幕を閉じました。

今回の夏祭りには、村内の各地域から一二〇名もの方々にボランティアとしてご協力いただきました。これほど多数のご協力を得られたのは、各行政区長の皆さんが盆踊りの太鼓や踊り手、ステージの出演等で地域の方に声をかけ



さんさの太鼓の響きに心も踊る

ていただいたお陰であり、あらためて感謝申し上げます。また、太鼓や踊りで元気なステージを盛り上げてくれた沢内第一小学校の児童の皆さんには、夏休み中にも関わらずご家族の方が同伴で参加していただきました。

時間帯が夜ということ、児童の皆さんに出演してもらうのは難しい面もありましたが、学校側のご配慮や保護者の皆さんのご理解により実現することができ、特養住民の皆さんも大変喜んでおりました。ありがとうございます。



元気な太鼓と踊りを披露してくれた第一小の子どもたち

ご協力いただいた高下の佐々木正人さん、第一小のステージ出演のため親子でご参加いただいた太田の佐々木幹子さん、沙織さんに感想などを寄せていただきましたので、ご紹介いたします。

長瀬野区長

高橋正慶さん

区長会にやすらぎ会から夏祭りの協力依頼があり、区長を代表して実行委員にも選ばれ、準備段階から参加させていただきました。

ステージの出演団体等について地域に声をかけてほしいとの各区長への依頼内容でしたが、どの地区もなかなか紹介できる団体がなかったというのが現状のようでした。当日は多くの村民の皆さんの参加があり、大変盛り上がり、良かったと思います。ただ、ステージの背景がやや殺風景だったので、幕を張るなど工夫すればもっと雰囲気が出たのではないのでしょうか。出演団体の数も二団体しかなく、



家族やボランティアの方とステージを眺める特養住民

すぐに終わってしまったので、もう少し多くした方が楽しめたように思います。

沢内さんさ踊り保存会
代表 佐々木正人さん

これまでは光寿苑の盆踊り大会で毎年太鼓をたたいておりましたが、今年は地元の方々の園の方にも参加しようということになり、メンバーで声をかけ合いました。

我々沢内さんさ踊り保存会は、文字通り沢内さんさの伝統を絶やすことなく、若い世代に引継いでいきたいと考えての仲間の集まりです。地域の

田地区の夏休みの行事の一つとして参加させていただきました。太田からは五年生を中心に一九名が踊りで参加し、太鼓たたきの六年生は、人数の関係で太田以外の各地区の子どもたちに協力してもらいました。

ぶなの園の夏祭りへの参加に対してはどの保護者の方々も協力的で、ほとんどが家族同伴で参加するということになり、子どもたちも参加できることをとても楽しみにしている様子でした。

元気な太鼓や踊りをお年寄りの皆さんにお見せすることができ、子どもたちも、そし



盆踊りの後の景品交換は大にぎわい

て親としても大変良い思い出ができたと思います。

はじめとおわりの言葉を急に私が言うことになり心配だったけど、みんなニコニコして

見えてくれたので、安心して言えました。またこういう機会があったら、お年寄りの皆さんと交流したいです。

(第一小五年生
佐々木沙織さん)

八月に村内全戸に配布させていただいた夏祭りのご芳志者ご芳名の中に、加藤久子様のお名前が記載されておりませんでした。大変失礼いたしました。

ここでお詫びをし、あらためてお礼申し上げます。

太田 佐々木幹子さん
教頭先生から、ぶなの園の夏祭り参加の声がかかり、太

バザー売上金で 餅つきセット購入

6月18日に開催された「やすらぎ会バザー」では、村内外から多くの方のご協力とご来場をいただき、誠にありがとうございました。

お陰さまで売上金が目標金額を大きく超え、35万円以上となり、私たち職員も驚いております。

この売上金を有効に使わせていただくことと検討した結果、沢内の昔からの習慣である餅つきを、いつでも何度でも特養住民の皆さんに楽しんでいただけるように、杵と臼、餅つき機械を購入することになりました。

つい先日、その餅つき器具一式がぶなの園に届き、住民の皆さんも大変喜んでおりました。長い間使えるよう、大切に使用させていただきます。

〈バザー実行委員会〉



真新しい餅つき器具を前にハイポーズ!



ホーム喫茶のご案内



【ホーム喫茶開店日】
 10月20日(金)
 11月17日(金)
 12月15日(金)

【ご利用時間】
 14:00~16:00

【場所】
 ぶなの園地域交流スペース

☆特養住民の皆さんが、地域の方々との交流を心待ちにしています。
 ぜひ、お越しください。

編集後記

猛暑の次は秋の長雨。ぎっしりと実をつけた稲穂は、この雨風に耐えきれず、収穫を直前にだいふ倒されてしまいました。頭を悩まされている農家の方も、多いことと思います。

急激な気温の変化で、稲穂だけでなく私たちも体調を崩しがちになります。涼しさを通り越し、これからは日に日に肌寒くなる一方ですので、「私は若いから…」と油断せず、寒さへの対策、体調の管理には十分に気を配りましょう。

〈やすらぎ会広報委員〉

高橋 渉 近藤富子 上中屋敷陽子
 佐々木菜穂子 高橋宏明 高橋直美

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 新町婦人会の皆様 ○ 太田若妻会の皆様 ○ 高橋恵子 様 ○ 高橋祐子 様 (ホーム喫茶) ○ 高橋昭士・和子様 (ホームバー) ○ 沢内村民生委員の皆様 ○ 長瀬野婦人会の皆様 ○ 結っこの会の皆様 ○ 平沢安保 様 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 山鼻 恵 様 ○ 佐々木このみ様 (特養住民介助等) ○ 高齢者趣味の会の皆様 (縫い物) ○ 沢内村理容組合の皆様 (特養住民理容) ○ 岩谷堂農林高校の皆様 (鹿子踊り披露) ○ 高橋正慶 様 (意見箱作成) |
|--|---|

感謝申し上げます

平成二十二年六月〜八月

ご利用ください 西和賀介護相談室

要支援、要介護の認定通知を受けられた方が介護保険でサービスを利用する際には、ケアプラン（個別援助計画）を作成する必要があります。

やすらぎ会の『西和賀介護相談室』では、2名の介護支援専門員が、ケアプラン作成等のお手伝いをさせていただいております。

ケアプラン作成にかかる費用は一切ございませんので、お気軽にご相談ください。

〔介護支援専門員〕

平川 縫子
 佐々木愛子

また、在宅介護支援センターではこれまで通り高齢者の介護に関するあらゆるご相談に応じて参りますので、こちらの方もぜひ、ご利用ください。

西和賀介護相談室・在宅介護支援センター

《電話番号》 85-2319 (直通)
 85-2322 (土・日・祝日、夜間対応)